

8-4-30 環境専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

令和4年4月より2ヶ月毎に1回の計6回開催し、技術部会、社会マネジメント技術委員会からの報告事項、依頼事項に関する審議、当専門委員会の活動及びイベントに関する協議を行った。また、当専門委員会開催時には勉強会を実施し、今年度は「国交省グリーンチャレンジ」、「流域治水」、「気候変動」等における建設環境技術者の対応や環境関連技術者のより良い働き方について各WGグループより話題提供を受け、意見交換を実施。今後も委員会毎に継続予定。

(2) 協会員を対象にした環境セミナーの開催

今年度は、兵庫県豊岡市において、「円山川水系における流域治水に関する環境の取組について（河川から地域へ）」と題し、以下の講演会、現地見学会を開催した。なお、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、講演会はオンライン形式で会員会社に参加して頂き、現地見学会は環境専門委員会委員のみで実施した。

講演会：R4/10/13 14:00～17:00 参加者 90名

演題①：円山川水系における水辺再生の取り組みと流域治水への展望

講師①：兵庫県立大学大学院教授・兵庫県立コウノトリの郷公園 統括研究部長
佐川 志朗 氏

演題②：自然再生や流域治水などの取り組みから地域の価値を高める

講師②：豊岡市 環境経済部 大交流課 課長
宮垣 均 氏

見学会：R4/10/14 8:00～12:15 参加者 22名

開催場所：兵庫県豊岡市 円山川水系

環境セミナー開催後、実施記録を報告書及び概要版にまとめた。

(3) RCCM 更新テキスト（建設環境）の改訂

更新講習用のテキスト（PPT）について、最新情報に改訂すべき箇所を抽出し、各委員で分担

して追加更新を行い、演習問題も更新した。

(4) 協会本部、技術部会等からの依頼対応

a) 建設コンサルタンツ白書の執筆依頼対応
・河川系WGの委員1名を選任。グリーンインフラに関する部分の執筆を担当。

b) 統括技術委員会、社会マネジメント技術委員会からの意見照会、情報提供依頼対応

c) 未来塾からの意見照会、情報提供依頼対応
・河川系WGの委員1名を選任。河川水辺の国勢調査業務に関する歩掛調査等を担当。

d) 業務研究発表会一次審査員・運営補助
・横断領域WGの委員1名を選任。一次審査及び研究発表会当日の運営補助を務めた。

e) 対外活動委員会WG（水資源機構）委員受嘱
・当専門委員長が受嘱し委員会対応した。

(5) 外部団体からの協力依頼への対応

a) （公財）リバーフロント研究所より「令和4年度河川水辺の国勢調査に関する検討会・河川環境基図作成調査マニュアル改訂に向けた勉強会」への参加要請があり、副委員長を選任。デジタル技術等を用いた調査の効率化、調査結果の更なる利活用の促進等について議論した。

2. 外部団体の委員会等、委員受嘱

(1) 国交省「公共工事の環境負荷低減施策推進委員会」委員受嘱

・当専門委員長が受嘱し委員会対応した。

3. 次年度の活動について

建設コンサルタント業務の中で環境に関する相互の技術水準の向上を目的とし、技術動向や最新の知見を収集し、会員企業・発注者・関係団体等への情報発信を行う。

・専門委員会の開催：年6回（2ヶ月に1回）

・環境セミナーの開催：年1回（2会場）

・RCCM 更新テキスト（建設環境）の改訂

・協会本部、技術部会等からの依頼対応

・外部団体からの意見照会、協力依頼対応

・新規イベントの検討と実施：

支部や関連機関との意見交換会、当専門委員を対象とする講演会、セミナー等の開催

（環境専門委員会委員長 大塚 宣昭）